

交通安全のつどいを開催

16日、セッション杉並では、「平成28年秋の全国交通安全運動」に向けた、「杉並区交通安全のつどい」を開催しました。つどいには、交通安全協会のメンバーや住民など500名あまりが参加し、交通事故ゼロを目指すことを確認しました。

9月21日から30日までの10日間、「平成28年秋の全国交通安全運動」が実施されます。この運動を盛り上げることを目的に、杉並区と荻窪・杉並・高井戸の3警察署と交通安全協会が主催した「杉並区交通安全のつどい」が開催されました。

今回の「全国交通安全運動」の運動の基本は、「子供と高齢者の交通事故防止」です。また、東京都内では、平成27年の1年間で、161名が交通事故で亡くなりました。そのうち、58名が65歳以上となっています。今日のつどいに集まったメンバーの多くも高齢者で、その対策として、夜間に外出するときに反射材を身に着けることや自転車乗車の際にヘルメットを着用することで、安全性が高まることなどが係員から説明されると大きくうなずいていました。

また、杉並区交通安全宣言として、①私たちは信号を守り青のときでも左右をよく見て車が来ないか確かめてから渡ります。②私たちは信号を守り青のときでも左右をよく見て車が来ないか確かめてから渡ります。

③私たちは交通ルールを守り子や孫たちの交通安全の手本

となることを誓います。が発表されました。また、式典の第二部には、タレントの毒蝮三太夫さんが登場。軽妙なトークを交え、高齢者が交通事故や振り込め詐欺の被害に巻き込まれないように注意しましょうと話しました。



秋の全国交通安全運動の成功を目的にした今日の交通安全のつどいには、交通安全協会のメンバーや地域の住民など約500名が参加しました。また、9月19日午前10時30分から11時30分、JR阿佐ヶ谷駅から杉並区役所までの中杉通りで、交通安全パレードを予定しています。パレードには、立正高等学校吹奏楽部や警視庁女性白バイ隊も参加し、交通安全の啓発を行います。

【報道機関問い合わせ先】

都市整備部交通対策課 TEL：3312-2111 内線3559